



ピアノの^{ひだり}左^{つか}ペダルはなぜ使わないの

ピアノは、げんをたたいて^{おと}音^だを出す

ピアノは、18世紀末から使われ、世界中に広くゆきわたっている、^{がっき}楽器の一つです。今のピアノには、げん(ピアノ線)を水平に張った、グランド・ピアノと、げんを^{すいちよく}垂直^{ほうこう}の方向に張った、アップライト・ピアノとがあります。

どちらのピアノでも、ピアノをひくときには、ピアノのけんばんをたたいて^{おと}音^だを出しています。

けんばんをたたくと、けんばんにつながっている、ハンマー(つち)が^{うご}動いて、それぞれのげんをたたきます。すると、げんがふるえて^{おと}音^でが出ます。

^{ひだり}左^{おと}ペダルは音^{ちい}を小さくする

ピアノには、^{あし}足でふむ^{みぎ}ペダルが二つ、ついています。右のペダルをダンパー・ペダルとい、^{ひだり}左のペダルをソフト・ペダルといいます。

右のペダルをふむと、すべてのげんについている、ダンパーがげんからはなれるので、^{ゆび}指をけんばんからはなしても、^{おと}音^なが^{つづ}鳴り^う続いて、^い打^がたれたげん^い以外のげんも^{きょうめい}共鳴し、よりいっそう、いい音が出ます。

^{ひだり}左のソフト・ペダル(弱音^{じゃくおん}ペダル)は、ペダルをふむことによって、^{おと}音^{ちい}が小さくなります。それで、このペダルは、ピアノをひくときに、ピアノの^{おお}大きな^{おと}音^ででまわりの^{いえ}家^{めい}に、迷^{めい}わく^{めい}をかけないために使います。(監修・青木 国夫)

